

成長に向けた「挑戦」の政策

◆新規 ◇拡充

3 農林水産業の振興

①農林水産物の競争力向上

- ◇農林水産業競争力アップ技術開発 62,140(60,258)
(生産者の所得向上や地域の活性化に向けた実用技術開発を加速)
- ◆6次産業化ネットワーク活動推進 20,000(-)
(農林漁業者を核に、加工業者や流通・販売業者等が参画して行う新商品の開発とそれに必要な加工施設や機械の整備等を総合的に支援)
- ◇果樹産地の生産力向上 60,843(72,798)
(みかん、うめ、かき、もも等の優良品目への転換、園地整備、栽培技術研修会の開催など産地の取組を総合的に支援)
- ◇野菜花き産地の生産力向上 23,502(24,075)
(高品質化等を目的とした機械・設備の導入やパイプハウスの更新を支援)
- ◇果樹の品質管理高度化 [190,000](-)
(消費者の購買ニーズに対応した選果機や貯蔵施設の整備支援)

②多様な担い手の確保と育成

- ◇新規就農者の育成 365,180(457,866)
(トレーニングファームの運営支援や青年給付金等により、青少年の新規就農・定着を促進)
- ◇農業生産法人等の設立・参入の促進 20,677(20,698)
(農業生産法人等による農業用機械の導入や農地の長期貸借等を支援)

③農作物被害対策の強化

- ◇農作物鳥獣被害防止総合対策 485,472(423,396)
(ニホンザルの管理捕獲を開始するなど、有害鳥獣の捕獲対策を強化)
- ◆ウメ、モモ等の重要病害ウイルスの侵入防止対策 7,080(-)
(ウメ輪紋ウイルスの侵入とまん延を防止するための条例を制定するとともに、県内全域調査を実施)

④攻めの販売促進

- ◇国内販路開拓の推進 30,577(25,854)
(国内展示会や消費者向けイベントへの出展参加により、本県産農水産物・加工食品等の認知度向上を図るとともに新たな販路拡大を促進)
- ◇海外市場開拓による輸出の拡大 17,234(16,518)
(海外の見本市への出展や百貨店フェア、海外市場調査、輸出促進セミナーの実施等、海外の販路開拓に向けた取組を促進)
- ◆「おいしい！健康わかやま」定着PR戦略 33,264(-)
(イメージキャラクター等の活用により、マスメディア対策を充実し、美容や健康増進機能を有する「わかやま産品」のブランド向上とPR対策を強化)
- ◇ステップアップわかやまジビエ 22,910(12,263)
(獣肉処理施設に対し、安全性及び品質管理に基づく認証制度を創設し、わかやまジビエの流通と消費を拡大)

⑤森林と林業の再生

- ◇低コスト林業の推進 776,912(682,500)
(施業集約化の促進や作業道等の整備や高性能林業機械の導入、間伐材の輸送等を支援)
- ◇紀州材の需要拡大 219,540(169,276)
(公共施設等への利用促進など紀州材の需要を喚起)
- ◇多様で健全な森林づくり 9.4億円[13.0億円](8.7億円)
(荒廃森林の整備や貴重な生態系を持つ森林の公有林化等を推進)

⑥水産業の活性化

- ◇水産基盤の整備推進 284,606(183,477)
(沿岸漁場への表層型浮魚礁等の設置)
- ◇内水面漁業の振興 10,294(9,810)
(種苗の放流、産卵場の造成、カワウ対策等を支援)

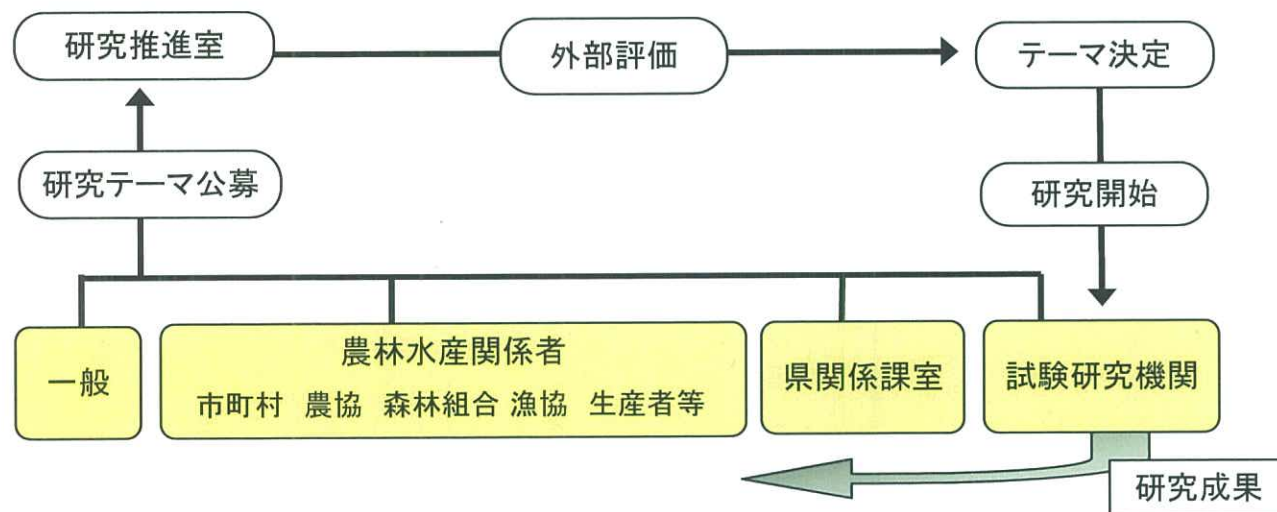
農林水産業競争力アップ技術開発

農林水産部 農林水産総務課

平成25年度：62,140千円
(60,258千円)

農林水産関係者等や市町村、県関係機関からの公募により研究テーマを決定し、
農林水産業者の所得向上や地域の活性化につながる新たな技術開発を加速化

○事業概要



【平成24年度実績】

応募総数：105課題

採用数：12課題

<採用テーマ例>

- ・ダイコン黒芯症防除技術
- ・難防御獣類の安全で効率的な捕獲手法
- ・高育種価熊野牛の遺伝子セービング技術
- ・太陽熱蓄熱方式による木材乾燥技術
- ・低コストなアユ養殖飼料 など

6次産業化ネットワーク活動推進

平成25年度：20,000千円
(新規)

農林漁業者を核に、加工業者や流通・販売業者等が参画して行う新商品の開発とそれに必要な加工施設や機械の整備等を総合的に支援

■ 農林水産物の生産から加工、流通・販売等までが参画したネットワーク

◎農林漁業者（6次産業化法認定者※） ・ 食品事業者 ・ 流通事業者 ・ 観光業者 ・ 輸出業者 等

※農林水産物等の生産及びその加工又は販売に至る計画を自ら策定し、国の認定を受けた者

ネットワーク構築に向けた会議開催
と調査・検討、リーダーの育成等

活動推進補助金

【補助対象者】
ネットワーク参画者（補助率1/2以内）

新商品の開発・販促

活動推進補助金

【補助対象者】
ネットワーク参画している6次産業化法認定者等（補助率2/3以内）
その他の農林業者、民間事業者等（補助率1/2以内）

加工施設・機械整備等

活動整備補助金

【補助対象者】
ネットワーク参画している6次産業化法認定者等（補助率1/2以内）

農作物鳥獣被害防止総合対策

平成25年度：485,472千円
(423,396千円)

捕獲対策を強化しつつ、防護対策や環境整備も合わせた総合的な鳥獣被害対策を推進

捕獲対策の強化

【新】

- 和歌山県ニホンザル保護管理計画に基づく捕獲の推進
(捕獲目標：600頭/年)
 - ・実証わなの設置
 - ・市町村へのアドバイザー派遣
 - ・市町村への捕獲費補助

【拡】

- 和歌山県ニホンジカ保護管理計画に基づく捕獲の強化
捕獲目標：1,500頭/年 → 1,800頭/年

【拡】

- 市町村による有害鳥獣捕獲の促進
捕獲補助金：約20,200頭分を予算措置
(H24当初比+約7,000頭)

【拡】

- 狩猟者の育成強化
狩猟者確保ため、講演会・技術研修等を実施

防護対策・環境整備

- ・わな等の設置支援
- ・防護柵の設置支援
- ・獣肉処理機器の整備支援
- ・地域協議会の活動支援

など

■本県の鳥獣被害金額の状況

年度	鳥獣被害金額総計	主な獣種別被害金額（百万円）			
		イノシシ	サル	シカ	アライグマ他
21	279	132	44	46	57
22	350	184	53	48	65
23	328	174	47	39	68
23年度割合	100%	53%	14%	12%	21%

【全体の捕獲目標】（狩猟を除く）

シカ	約7,100頭	イノシシ	約11,500頭
サル	約2,000頭	アライグマ	約2,000頭

合計：約22,600頭（H24当初比+約7,900頭）

ウメ、モモ等の重要病害ウイルスの侵入防止対策

平成25年度：7,080千円
(新規)

ウメ輪紋ウイルス（PPV）の侵入及びまん延を防止し、ウメ、モモ、スモモ等サクラ属植物の果実生産の安全を図るため、県独自の防疫体制を確立

「和歌山県ウメ輪紋ウイルスの侵入及びまん延の防止に関する条例」(仮称)

(平成25年3月末 公布・施行)

【概要】

○栽培者等の責務

自ら警戒し、まん延の防止のため必要な措置を講じる

○植物の移動の制限

発生が確認された地域からの移動の制限（許可制）

○通報義務

症状を疑う植物を認めた者は、遅滞なく知事に通報

○立入検査

県職員による立入検査

○公表

正当な理由なく、移動の制限の規定に従わない者、立入検査に協力しない者の氏名、住所等の公表

PPV感染調査

実施期間：平成25年度～平成26年度（2年間）

検査方法：1年あたり2,000区画・1万検体
(計2万検体)

※県下のウメ、モモ、スモモ 172万本

調査で見つからなければ見逃し率は40本以下で根絶可能範囲

まん延防止体制

- ・侵入防止対策のガイドライン化
- ・病害虫防除所、市町村、JA等との連携体制構築
- ・農業関係者のほか、種苗販売業者、一般の園芸愛好者など多方面に啓発

「おいしい！健康わかやま」 定着PR戦略

平成25年度：33,264千円
(新規)

「健康」を前面に打ち出し、イメージキャラクターを起用するなど
官民が一体となって和歌山の食の魅力をメディアなどを通じて消費者にアピール

イメージキャラクターの起用

「健康」や「美容」イメージにあった「スポーツ選手などの有名人を起用」することで、より分かりやすく和歌山の食の魅力を伝達

和歌山の食から連想される
「健康」「美容」イメージ

- フルーツ → みずみずしさ 若々しさ
- 梅干し → ヘルシー
- 梅酒 → フレッシュ
- マグロクエ → 豪快 など

発信

メディア

TV

雑誌

など

参加

官民協働イベント (JA・企業・県など)

外食フェア

百貨店催事

など

ニーズに沿ったイメージ伝達

消費者ニーズ

- ▶ 元気でいたい
- ▶ 美しくいたい
- ▶ 若々しくいたい など

ステップアップわかやまジビエ

平成25年度：22,910千円
(12,263千円)

安全・安心なジビエを安定的に供給できる体制を構築するとともに、
外食や家庭での消費を促進

わかやまジビエ認証制度の創設

県

審査・認証

- ・ 認証制度、格付け・肉質基準の策定
 - ・ 解体マニュアル作成
 - ・ 処理責任者講習会
 - ・ 衛生検査
- など

獣肉解体処理施設

- ・ 衛生管理ガイドラインの遵守
- ・ トレサビリティの導入と個体表示
- ・ 格付け、肉質基準の遵守と表示
- ・ 衛生検査の受検

※認証期間1年（1年毎の再審査・再認証）

ジビエPR

- ・ ジビエウィーク
(期間限定による料理の提供)
- ・ ジビエの日
(期日限定の獣肉販売)
- ・ 料理教室
(親子による消費の促進)
- ・ 県外プロモーション
(県外料理店等に対する販促)

